

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和6年11月15日（金）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告
「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について
いじめ防止市民フォーラムの開催について
- 3 審議案件
教委第36号議案 横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出について
教委第37号議案 横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について
教委第38号議案 訴訟等に関する教育長臨時代理について
- 4 報告案件
教委報第4号 令和6年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出に係る臨時代理報告について
- 5 その他

令和6年11月15日

教育委員会臨時会 一般報告

1 市会関係

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 11/8 こころの劇場
- 11/9 第26回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜
- 11/13 スクールミーティング

(2) 報告事項

- 「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について
- いじめ防止市民フォーラムの開催について

3 その他

「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について

1 目的

国際機関の訪問を通じて国際平和への貢献について体験的に学ぶとともに、国連国際学校（国連本部や各国代表部等の職員の子どもを対象として設立された学校）への体験入学を通して、子どもたちの国際感覚を養い、グローバル人材の育成を目指す。

2 派遣児童生徒（よこはま子どもピースメッセンジャー）

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」（※）で横浜市長賞を受賞した4名の児童生徒を「よこはま子どもピースメッセンジャー」として委嘱し、派遣する。任期は3年とする。

氏名	学校名（区名）学年
志村 優妃（しむら ゆうひ）	市場小学校けやき分校（鶴見区）6年
加藤 夢丸（かとう ゆめまる）	大道小学校（金沢区）6年
イグウェ ケイト友菜 (イグウェ ケイト ゆな)	西谷中学校（保土ヶ谷区）3年
林 睿騰（りん るいてん）	潮田中学校（鶴見区）3年

（※）「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」

- ・横浜市内の児童生徒の国際平和の重要性に対する意識を高め、国際平和のために自分たちにできることを実践しようとする態度を培うことを目的に、平成8年度から開催。
- ・小中学校等から選出された児童生徒が、各区の予選及び事務局審査（特別支援学校及び私立学校の児童生徒が対象）を経て市の大会に出場。
- ・今年度は、市内の小中学校の児童生徒約42,000人が参加し、市の大会には各区の代表となった小学生各18名及び事務局審査を通過した私立小学生各1名の計38名が参加。（市の大会に出場した児童生徒は、市長から委嘱を受けて「子ども実行委員」として1年間活動）

3 派遣期間

10月13日（日）午前【出発】～10月20日（日）午後【帰着】

4 主な活動内容

（1）国連機関・日本政府代表部へ訪問

- 「よこはま子どもピースメッセージ2024」を発表・伝達
- スピーチで主張した内容を含んだ英語による自己紹介
- 面会者による事業説明・質疑応答

① 国連本部での面会者

- ・国連副事務総長：
 - ▶ 横浜市長 山中 竹春からのメッセージの進呈
- ・国連経済社会局 インクルーシブ社会開発部門 部長： 小野 舞純 氏
- ・国連国際学校・事務総長特別代表 フィールドサポート省国連事務総長補佐： リサ・ブッテンハイム 氏
- ・国連人権高等弁務官： フォルカー・トゥルク 氏
- ・国連事務次長 軍縮担当上級代表： 中満 泉 氏



アミナ・J・モハメド 氏



- ② 国連開発計画での面会者
 • 事務総長補佐 行政事務次官補 危機局長： 野田 祥子 氏
- ③ 国連教育科学文化機関ニューヨーク事務所での面会者
 • 上級調整官： リリー・グレイ 氏
- ④ 国連日本政府代表部での面会者
 • 公使： 森 尊俊 氏
 • 一等書記官： 宇川 優 氏



- (2) 国連国際学校 (UNIS) (※) への体験入学
 ○UNIS 事務局長のダンブレナー博士をはじめ UNIS 職員や児童生徒による歓迎会の開催。
 ○子どもピースメッセンジャーが国連国際学校の児童生徒宅へホームステイ。ホームステイ先児童生徒と国連国際学校の授業およびUNIS デイ (学園祭) を体験。
 (※) 国連国際学校(UNIS)は約 1,500 人の子どもが在籍している幼稚園から高等学校まである私立のインターナショナル・スクール。(約3分の2が国連職員の家族)



5 NY訪問を終えた子どもピースメッセンジャーの感想

- 国連で会った方々が共通しておっしゃっていたことは、「人とのつながり」や「コミュニケーション」の大切さ。自分と意見がちがうから話さない、とか、この人は苦手な人だから話さないといった考え方ではなく、自分と違うからこそ知ろう、と考え、行動していくべきと思う。
- 国連での会談で学んだことは、「自分を信じて行動を起こすこと」「視野を広げること、そのために積極的に新しい物事に触れること」でした。一つ一つ実行に移していくべきです。
- この派遣の経験を、多くの人に伝え、一人でも多くの人が、積極的に新しい物事に触れられるようにしていくことが、自分の使命だと思います。
- 自分の能力を知り、今、自分に何ができるか考え、社会のために貢献できることを考えたいです。

今後の取組予定 (子どもピースメッセンジャー、子ども実行委員)

日程	活動内容	参加者
11月26日（火）	市長・教育長に活動報告	子どもピースメッセンジャー
12月9日（月）	よこはま子ども国際平和シンポジウム ・活動報告・ピースメッセージ披露 ・パネルディスカッション	子どもピースメッセンジャー
12月13日（金）	第2回子ども実行委員会 ・国際連合訪問等の報告・国際平和に関する学習会 ・令和6年度子ども国際平和募金の活動（動画作成）	全実行委員
12月14日（土）	ユニセフハウス訪問 ユニセフ協会「ハンド・イン・ハンド」街頭募金活動	実行委員希望者
1月下旬	ESD推進コンソーシアム交流報告会で活動報告	子どもピースメッセンジャー
令和7年3月末	UNIS 生徒の来浜（約20名、ホームステイ予定） ホームステイ先：子ども実行委員宅、市立中学高校生宅から募集	検討中
令和7年7月	「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で司会を担当	子どもピースメッセンジャー
令和7年8月	「よこはま子ども実行委員委嘱式」で司会を担当	子どもピースメッセンジャー



Yokohama Children's Peace Message 2024

The 2024 Paris Summer Olympics and Paralympic Games. A place where people overcome their differences in culture, nationality, and other obstacles, respect each other and compete with a spirit of fair play through sports. It felt that the world peace we had always hoped for had come true and the world seemed to be as one.

Yet, as we look around the world, wars and conflicts continue to happen. While the dreamlike celebration is taking place in Paris, children our age are losing their lives at the same moment. There are poor children around the world who cannot get enough nutrition, children who want to learn but cannot go to school, and children who suffer because their existence is not respected. How many people think about these children, take it to heart, and try to act accordingly?

Let's get to know people who have different opinions, learn to see things from a different point of view, respect the opinions of minority, and value the people around us. As children, there are many things we can do. The future of world peace is in the hands of each and every one of us.

We want the world to hear our voice. We will think and act to achieve world peace. Believe in a united world.

2024 Yokohama Children's International Peace Program Members

よこはま子どもピースメッセージ2024

2024年夏、「パリオリンピック・パラリンピック」。スポーツを通じて、文化・国籍・障害などの違いを乗り越え、互いを尊重し、フェアプレーの精神をもって競い合う場。応援者や参観者も、国を問わず選手たちの健闘を祈る場。そこでは、私たちが望み続けている「世界平和」が実現し、世界が一つになっているように感じました。

しかし、世界を見渡すと、戦争や紛争は相変わらず続いている。パリで夢のような祭典が行われている瞬間に、私たちと同じような歳の子どもたちが命を落としているのです。貧困で十分な栄養をとれない子どもたち、学びたくても学校にいけない子どもたち、存在を尊重されず苦しんでいる子どもたちが世界中にいるのです。そういう子どものことを、一体、どれだけの人が自分のこととして考え、行動しようとしているのでしょうか。

自分と意見が違う人のことを知ろうとすること、色々な見方で物事を見ること、少数の意見を尊重すること、身近にいる人を大切にすること。子どもである私たちにも、できることはたくさんあります。これからの「世界平和」は、私たち一人ひとりの手にゆだねられているのです。

どうしても今、世界に伝えたい。「世界平和」を実現するために、私たちは考え、行動します。世界はきっと一つになると信じて。

令和6年度 よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員

October 11, 2024

His Excellency Mr. António Guterres,
Secretary-General of the United Nations

Your Excellency,

On behalf of the 3.77 million residents of the City of Yokohama, I would like to express my heartfelt respect to you and to the people of the United Nations for your relentless effort for international peace.

The City of Yokohama has a long history of international exchange with different cities around the world to promote international peace and international cooperation. In recognition of the city's efforts and contribution, the United Nations designated Yokohama as a "Peace Messenger City" in 1987.

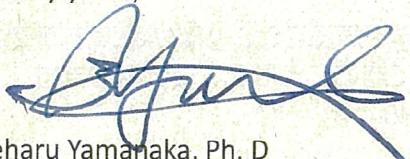
Every summer, the city organizes the "Yokohama Children's International Peace Speech Contest" where the city's elementary and junior high school students present their ideas on the theme "What I want to do for international peace" to reflect on the 17 SDGs. Approximately 42,000 elementary and junior high school students participated in this year's activity.

Last year, the Yokohama Children's International Peace Fund raised 7,298,347 yen (around \$51,000) through the efforts of children in Yokohama. The amount will be entrusted to UNICEF to be used to support children around the world.

At present, the world faces a variety of challenges, from climate change to deepening world divisions and conflicts. To confront these issues, collaboration between countries and regions is indispensable. In 2027, just before the target year 2030 for the achievement of the SDGs, the City of Yokohama will hold "GREEN X EXPO 2027," a world exposition designed to address the global issue of climate change and to promote symbiosis between people and the natural environment. Through this exposition, Yokohama will accelerate its efforts to bring forth a sustainable and green society, and will use this special opportunity to further strengthen its global partnership and make a significant contribution to the achievement of the SDGs in Japan and the rest of the world.

It is my hope that this visit by the Yokohama Children Peace Messengers will in time become a great force to the realization of a society in which all people can lead safe and prosperous lives.

Sincerely yours,



Takeharu Yamanaka, Ph. D
Mayor of Yokohama



CITY OF YOKOHAMA

6-50-10 Hon-cho, Naka-ku, Yokohama 231-0005
Japan

2024年10月11日

国際連合事務総長 アントニオ グテレス 様

377万人の横浜市民を代表し、閣下をはじめ国際連合の皆様の、国際平和に対する不断の御努力に、心からの敬意を表します。

横浜市は、海外の都市との交流促進、国際平和や国際貢献に積極的に取り組んでおり、1987年には、国際連合から「ピースメッセンジャー都市」の称号を授与されました。

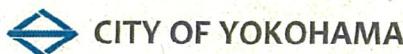
毎年夏には「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」を開催し、市内の小中学生が、「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標に関連付け、「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマとするスピーチを発表しています。今年は約42,000名の小中学生が参加しました。

「よこはま子ども国際平和募金」では、横浜の子どもたちの取組により、昨年一年間で729万8347円（約5万1千ドル）もの金額が集まりました。この募金をユニセフに寄託いたしますので、世界の子どもたちの支援に是非、お役立てください。

今、世界は、気候変動、分断や対立が深まる世界情勢をはじめ、様々な課題に直面しています。地球規模の課題に対峙するためには、国や地域を超えた連携が欠かせません。SDGs達成の目標年2030年を目前に控える2027年には、横浜で、気候変動に着目した国際博覧会「GREEN×EXPO 2027」を開催します。人と自然環境との共生を目指すこの博覧会の開催を通じて、持続可能でグリーンな社会の実現に向けた取組を、さらに加速させてまいります。横浜市は、今後さらにグローバルパートナーシップを強化し、日本、そして世界のSDGs達成に大きく貢献していきたいと考えています。

このたびのよこはま子どもピースメッセンジャーの訪問が、やがて大きな力となって、すべての人々が安心で豊かな生活を送ることができる社会の実現につながることを、心から願っております。

横浜市長



6-50-10 Hon-cho, Naka-ku, Yokohama 231-0005
Japan

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

令和6年11月15日
教育委員会事務局人権教育・児童生徒課

大人ができるを考える

12月は「いじめ防止啓発月間」

いじめ防止市民フォーラムを開催します

横浜市では、児童生徒をいじめから守り、社会全体でいじめの防止に取り組むことへの理解及び協力を求めるため、「横浜市いじめ防止基本方針」に基づき、12月を「いじめ防止啓発月間」と位置づけています。いじめ防止の啓発として、ポスターやのぼり旗の全市立学校、区役所等での掲示、横浜市営地下鉄車内広告、駅構内デジタルサイネージ広告の掲出等に取り組みます。また、本月間の一環として、子どもの健全育成に係る関係機関と協働し、「いじめ防止市民フォーラム」を開催します。

日 時 令和6年12月11日(水)13:30~15:35(13:15受付)

会 場 横浜市役所1階アトリウム(横浜市中区本町6-50-10)

テ マ オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪 ~一人ひとりができるここと~

内 容 1 グループ協議:小学生から高校生までの代表児童生徒が、グループに分かれて話し合います。

【テーマ】「いじめをしない自分でいるために」

新たな取組 2 パネルディスカッション:児童生徒によるグループ協議を受けて、大人が話し合います。

【テーマ】「いじめをさせないために、大人ができること」

主 催 横浜市いじめ問題対策連絡協議会

事前申込み
不要

(写真は昨年度のいじめ防止市民フォーラムの様子)

※取材をご希望の方は、当日会場受付に直接お越しください。



新たな取組 いじめ防止に向けた大人のメッセージを募集します

いじめを社会総がかりで無くしていくために大人の力も必要です。お寄せいただいたメッセージの一部は、市民フォーラム当日のパネルディスカッションで、紹介させていただきます。

~募集テーマ~

「いじめをさせないために、大人のあなたができること」

■WEBでの回答 (募集期間:令和6年11月18日(月)~27日(水))

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/e381e7c1-26cf-4af6-977f-6d07475bf0ba/start>

■紙での回答

フォーラム当日に観覧の受付をされた方に対し、記入用紙を配布します。



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



▶ 令和6年度 「横浜市いじめ問題対策連絡協議会」※の取組

関係機関・団体	主な取組内容
横浜地方法務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権110番電話相談(通年) ・子どもの人権SOSミニレター(配布期間5月～6月) ・人権キャラバン(横浜市内小中学校での人権教室) 等
神奈川県警察	<ul style="list-style-type: none"> ・非行防止教室の開催(通年) ・ユーステレホンコーナーによるいじめ等の電話相談(通年) 等
横浜市青少年指導員連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全市一斉統一行動パトロール活動(7月) ・全市統一行動キャンペーン活動(11月) 等
横浜市子ども会連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での子ども会活動を通じた子どもたちによる支え合いの促進(通年) ・地域の大人による見守り活動(通年) 等
横浜子ども支援協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜子ども支援協議会※に参画する各団体や通所している児童生徒に対するいじめ防止の啓発 ※不登校・ひきこもり等に対して社会的自立に向けた支援を行う市内の民間団体で構成 ・不登校相談会の実施 ・居場所や子ども食堂、不登校やひきこもり等の支援を行っているスタッフ向けの研修会の実施 等
横浜市PTA連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市PTA連絡協議会三行詩コンクールの実施 (テーマ:「命の大切さ」「みらい」「家族のきずな」) ・子どもの健全な育成に向けた家庭と地域社会の役割、相互理解に基づいたより良い人間関係づくりのための研修会や勉強会などの実施 等
横浜市立学校 (小・中・高・特別支援学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ防止対策委員会による組織的対応(通年) ・子どもの社会的スキル「横浜プログラム」の授業実施(通年) ・いじめ未然防止として「横浜子ども会議」の取組実施(通年) 等
横浜市 こども青少年局 横浜市児童相談所 区福祉保健センター 健康福祉局	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生世代の居場所や相談機関の紹介ポータルサイト「ふあんみつけ」(通年) ・青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)子供・若者育成支援強調月間(11月) ・オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン(11月) ・自殺対策、こころの電話相談、横浜いのちの電話相談(通年) 等
市民局	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題を含む人権啓発パネル展示 ・中学生人権作文コンテスト表彰式(11月)、区民まつり等市内各所で実施 等
教育委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間子どもSOSダイヤル(電話相談・24時間365日体制) ・学校生活あんしんダイヤル(電話相談・火曜日～金曜日9時～17時) ・保護者向けスマホケータイリーフレットの配布(小・中・特別支援学校 新1年生向け) 等

※横浜市いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に係る関係機関の連携や啓発活動を推進するため、子どもの健全育成に係る関係機関等で構成する協議会です。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/ijime/20140821160127.html>



お問合せ先

教育委員会事務局人権教育・児童生徒課長 松田 肇 Tel 045-671-3706



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

